

ウクライナ軍の死傷者がバイデンの大きな心配

ウクライナは 10 万人の兵士を失った模様だが、その補充は容易でない。一方米国によるウクライナへの武器供給は米国内の在庫を枯渇させ、アジアの安全保障の欠陥を露呈させている。

ステファン・ブライエン (STEPHEN BRYEN)

アジア・タイムズ 2022 年 12 月 1 日

[Ukrainian military casualties are big trouble for Biden – Asia Times](#)

欧州委員会のウルスラ・フォン・デア・ライエン委員長は、現在撤回されている衝撃的な声明で、ウクライナは戦争で 10 万人の兵士と 2 万人の民間人を失ったと書いた。([Ursula von der Leyen](#))

これは、米国のマーク・ミリー統合参謀本部議長が、ニューヨークの経済クラブ主催の会合での講演で、戦争で 10 万人以上のロシア兵が死傷しており、部隊の死傷者数はウクライナ軍もたぶん「同じ」だと述べたコメントに符合する。

([in a speech](#))

ウクライナの多数の死傷者は、米国による事実上の対ロシア戦争が困難に陥っていることを示すシグナルである。バイデン大統領は方向性を変えなければならない。さもないと国家安全保障の危機に直面し、大統領職を終えることになりかねない。

ウクライナは勝っているように見えるかもしれないが、事実は反対だ。なぜならウクライナは代替の効かない人員が不足しているからだ。戦場では消耗戦になり、ロシアが組織的にインフラを破壊しているため、何百万人もウクライナ人が海外に流出した。([millions of Ukrainians](#)) 明日戦争が終わっても、ウクライナは立ち直れないだろう。

一方、ロシアの人的問題はそれほど深刻ではない。モスクワは、国内では不人気

の徴兵制度によって前線部隊を補充しているが、それが占領下のウクライナにも拡大された。

ロシアの準軍事組織ワグナーグループも、昨年 4 月の 8000 人から現在では 4 万人近くまで大幅に増強されている。ワグナーグループの戦闘員の多くはロシアの刑務所から採用され、一部は他国、特に中東やアフリカから連れてこられた。([Russian prisons](#)) ウクライナ人は、ワグナーグループの犠牲者の数を 800 から 1000 人と推定しているが、3000 人と言う人たちもいる。([others put them at 3,000](#))

最近明らかになった情報の中で最も驚くべきものは、ポーランドの報告だ。それによると、約 1,200 人のポーランド人「志願兵」がウクライナで殺害されたとのことである。([around 1,200 Polish “volunteers”](#)) これらは、3 つの主要部門からなるポーランドの現役陸軍から集められたものとみられる。

ポーランド軍は 61,200 人の兵士と支援要員からなる。死傷者の多さと、ロシアがポーランドを報復攻撃する危険性を考えると、ポーランドがこれ以上の兵力を投入することはないだろう。

ウクライナ陸軍の戦闘力に関する最新の推定値は 19 万 8000 人である。犠牲者の数が驚くほど多いことから、ゼレンスキー大統領は、戦争がこれ以上長引けば正真正銘の危機に直面する。

ロシアは最近、ウクライナの重要インフラと司令塔を破壊することに注力しており([critical infrastructure](#))、同様にウクライナの高性能兵器、特に HIMARS などの精密ロケットシステムや防空ユニット、大砲を可能な限り破壊することに力を入れている。

ウクライナ側の戦場での死傷者の多くは、ロシアの無人偵察機(そのほとんどが Orlan-10 の亜種) と一体になったロシアの重砲の結果であるように見える。([Orlan-10.](#))

ロシアはまた、現場での指揮統制と指導力を改善した。ロシア軍はケルソンから

戦略的に撤退したが、これは兵力を温存し、より良い防御態勢を組織するためだ。
([Kherson](#))

現在、激しい戦闘のほとんどはバフムート周辺で行われている模様で、ロシア軍と地元軍がゆっくりと、しかし着実に前進しているようである。この戦闘はウクライナ側の備蓄を食い潰し、代替が容易ではない大量の弾薬を費消させている。

欧州諸国は資源が減少して限界に達しており、ウクライナへの補給を継続することは不可能になるかもしれないと明言している ([their resources have diminished to a critical level](#))。米国も、特に HIMARS、Javelin などの対戦車兵器、Stinger などの MANPADS といった重要なハイテクシステムに関して、戸棚が空っぽになる事態に直面している ([facing an empty cupboard](#))。

155mm 砲弾などの通常弾薬も不足している。さらに悪いことに、重要な戦時在庫が空っぽになったことで、台湾への物資配送が遅れ、中国が台湾を攻撃すれば、空白の機会ができていく ([delayed deliveries of supplies to Taiwan](#))。

台湾には HIMARS も長距離砲も、そしてここ数年製造が奇妙に遅れている F-16V ジェット機さえも届いていない。最近日本で行われた演習では、米海兵隊が HIMARS を装備して飛んだが、ロケット弾の不足で発射されなかった ([recent exercise in Japan](#))。

ある時点で議会が、なぜ政権はウクライナのために米国の安全保障を危険にさらすのか、といった質問を始めるかもしれない。米議会が、何十億ドルもの武器をウクライナに提供することに賛成し続けることができないのは明らかである。

ウクライナで最も重要なことは、ゼレンスキーが戦争物資を維持・補充することも、失われた兵力を補うこともできないかもしれない、ということである。ウクライナ政府は戦争情報の検閲を活発に行っている ([censoring war information](#)) が (これは全く驚くべきことではなく、フォン・デア・ライエンが最新の犠牲者である) 、その包囲網が狭まっていることは明らかである。

一方、ウクライナの重要インフラの劣化によって、国外流出がさらに加速するかもしれない。人びとは暖かさと避難所を求め、若者も徴兵を逃れるからだ。

周知のように、ロシアは兵士の確保と訓練、そして兵器の交換能力の両面で深刻な問題を抱えている。しかし、ロシアにはソ連崩壊前に得た膨大な戦時在庫があり、その一部をウクライナ戦争に持ち込んでいる。

戦争に反対したり、軍を批判したりすると、発言者が刑務所に入れられることもあるので、ロシアの持久力を判断するのは非常に難しい。それでも、ロシア国内の反戦運動は、指導者を後退に追い込むほどの威信はまだないようだ。([there does not yet appear to be an internal anti-war movement with enough credibility to drive Russian leaders to back off.](#))ロシアは、NATO を崩壊させ、米国に恥をかかせる—これが目下の本当の目標だ—ことができだろうと思って、冬まで、あるいはもっと長く、戦争を続けるだろう。

ワシントンでは、バイデン大統領が、ウクライナ人を代理人として使うとはいえ、「善戦」できる強い指導者であることを示すことで、少なくとも今のところは利益を得ている。しかし、ヨーロッパに冬が訪れ、エネルギー危機と深刻な財政問題が迫っている今、ある晴れた日に企業全体がクラッシュして燃え尽きるというリスクを考えると、バイデンはとても安閑とはしてられない。

バイデンは 2024 年の大統領選の再出馬を望み、2020 年と同じように勝てると思っている。しかし、彼の戦争が破綻したり、ヨーロッパが別の方向に進んだり ([Europe moves](#)) 台湾や韓国 ([even Korea](#)) を焦点としたアジアで本当の問題が起きたりすれば、そうはいかないかもしれない。

バイデンは、ヨーロッパを失ったのは誰か、台湾を失ったのは誰か、朝鮮を失ったのは誰か、という危機を乗り切ることにはできない。バイデンが信頼され、大統領にとどまるためには、ウクライナと安全保障に関する方向転換を早急に行う必要がある。(了)

Stephen Bryen は、 米国の「安保政策センター」「ヨークタウ研究所」上席研究員。ASIA Times は、香港を拠点とする日刊のオンライン新聞。

【翻訳 田中 靖宏】